



# 根岸だより

令和3年1月8日  
第32-58号  
台東区立根岸小学校  
校長 小西 祐一  
TEL:03-3876-2411~2

## 新しい年のはじまりに

校長 小西 祐一

昨年は新型コロナウイルス感染症によって世界中が混乱した一年でした。我が国においても緊急事態宣言が発令され、東京オリンピック・パラリンピックは延期になるなど、大きな影響を受け、学校も約3か月間の臨時休校になるほか、学校再開後も教育活動が困難な状況が続きました。

しかし、そのような中で、学校を支えたのは子供たち一人一人の頑張りです。大規模改修工事に加えて新型コロナウイルスにも見舞われ、不自由さを強いられることを余儀なくされながらも、子供たちは規律を守り、不満を口にすることなく、今できることに一生懸命取り組む姿が見られました。どんな状況にあっても、それに左右されることなく、めあてをもち自らの目標に向かって努力する子供たちを私は誇りに思います。そして、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たず不安な中であって

も学校の教育活動にご理解とご協力をいただいている保護者の皆様に、改めて感謝申し上げます。また、地域の皆様には日頃から様々な場面でご支援をいただいておりますが、このような状況の中でこれまで以上に根岸小学校とその子供たちへの熱い思いを感じさせていただいており、ありがたく思うとともに皆さんの期待に応えられるよう教育の充実を力尽くしていきたくと思います。

さて、令和3年は丑年です。丑年は、我慢する年、今後の発展の芽生えの年になるといわれています。「我慢」は昨年さんざんしたからもういい・・・という声も聞こえてきそうですが、私たちが大きく飛躍していくために、力を蓄えるときであると捉え、勉学に勤めましょう。

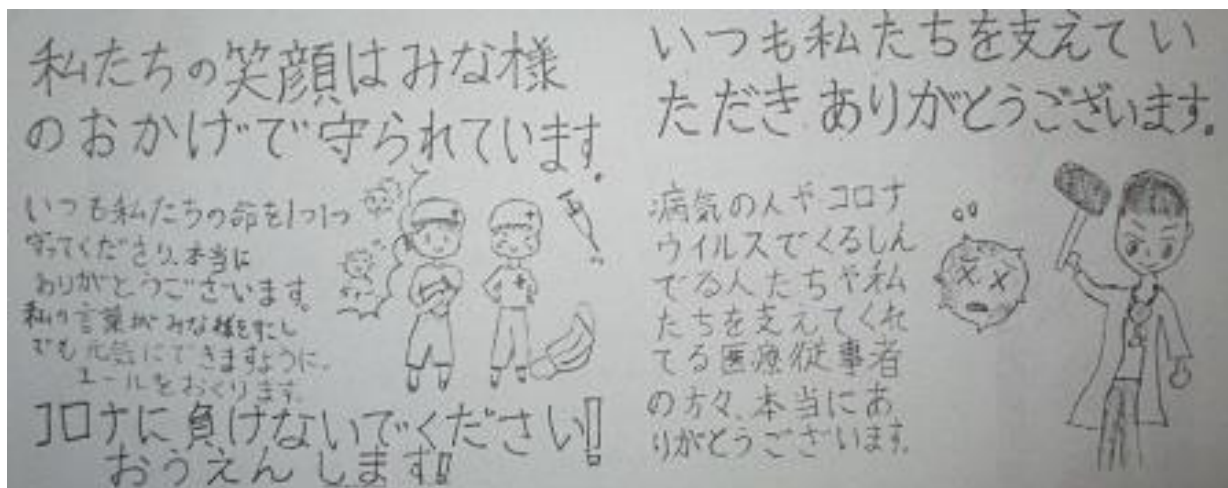
また、丑年の代表的な人物といえば、菅原道真公でしょう。学問の神様として各地に天神様として祀られている菅原道真公は、丑年・丑の日・丑の刻生まれで日頃からよく牛をかわいがっていて、亡くなった日も丑年・丑の日・丑の刻だったという説があります。また、道真公が亡くなられたときに柩を牛に曳かせたところ、ある場所で牛が立ち止まり動かなくなったことから、ここに埋めよというお告げととらえそこに墓所を作ったその場所が大宰府天満宮です。天満宮に臥牛が置かれているのはこのようないわれによるものです。子供たちの学業成就を願い湯島天神にお参りをしてきました。新型コロナウイルスの感染者数がなかなか減少しない中、教育活動や私たちの生活そのものが、これからも制限されることが考えられますが、牛の歩みのように「着実」に「前進」していけるように努力していきましょう。



湯島天神の臥牛

## 医療従事者の皆様へ感謝の手紙を書きました

2学期の終わりに、医療に従事していらっしゃる方へのメッセージを書きました。新型コロナウイルス感染症が収まらない中、身を粉にして医療活動にあたっている皆様に、感謝の思いを伝えました。このメッセージは、東京都教育委員会を通して医療機関に届けられます。



## 1月の行事予定



月	火	水	木	金	土
4	5	6	7 冬季休業日終	8 始業式 身体測定6年 11:15下校	9 引越し 西棟校舎 →仮設校舎
11 成人の日	12 放送朝礼 身体測定4年 委員会活動 お弁当給食始	13 身体測定5年	14 身体測定12年 避難訓練	15 身体測定3年	16 土曜授業日 (非公開)
18 放送朝礼 クラブ活動 (クラブ見学)	19	20	21 アルミ缶 ・紙パック回収	22	23
25 放送朝礼 安全指導	26	27 3年生以上 6時間授業	28	29	30